

Case 52

- 5歳、女児。
- 主訴：目の充血。
- 発熱や咽頭痛など
- の風邪症状。

Question

問1 — 考えられる疾患は？

- ① 咽頭結膜熱
- ② 単純ヘルペス結膜炎
- ③ クラミジア結膜炎
- ④ アレルギー性結膜炎
- ⑤ カタル性結膜炎

問2 — 診断に有用で、外来で簡便に行える検査は？

写真1 前眼部所見



前日からの目の充血のため来院。発熱や咽頭痛などの風邪症状もあるという。眼瞼結膜は充血と混濁および濾胞を認め、眼球結膜にも充血を認めた。耳前リンパ節は腫

脹していた。眼脂の塗抹検鏡では単核球を認めた。眼瞼縁には異常所見がなかった。

問 1 の 答 え

出題と解説 宇多重員 (二本松眼科病院〔東京都江戸川区〕)

咽頭結膜熱 (プール熱)

急性濾胞性結膜炎の多くは、アデノウイルス、単純ヘルペスウイルス、クラミジアを原因とする。眼脂の塗抹検鏡では、単純ヘルペスウイルスの場合は単核球だけでなく好中球も多く、クラミジアの場合は好中球優位となるので、本症例とは異なる。

流行性角結膜炎 (epidemic keratoconjunctivitis; EKC)

と咽頭結膜熱 (pharyngoconjunctival fever; PCF) は、同じ型のアデノウイルスによって発症することがある。両者は臨床症状で区別され、咽頭結膜熱は小児例が多く、腸管からのウイルス排出によってプールで感染することがあり、別名プール熱とも呼ばれる。

アデノウイルスに対する特異的な抗ウイルス薬はない。治療としては、感染予防の目的で、抗菌薬の点眼、または症状によってはステロイドの点眼も行われる。

問 2 の 答 え

アデノウイルス迅速診断キット

免疫クロマトグラフィー法を用いたアデノウイルスの迅速診断キットは、判定時間が10～15分なので、外来で簡

便に行える。検査の特異性は100%であるが、感度は高いものでも70～80%以下といわれている。

従って、診断キットで陽性の場合には診断が確定するが、陰性の場合には感染を否定できないことに注意が必要である。

POINT アデノウイルス迅速診断キットは偽陰性に注意。